

# 令和4年 第6回佐久市社会教育委員会議 会議録

日時 令和5年1月30日（月）午前10時～午前11時30分

会場 佐久市保健センター2階集団指導室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

中澤委員長

## 3 会議事項

（1）「居場所」に関する調査結果の報告について

委員長

提出した報告書に基づき、各グループ調査結果を発表してください。

コミュニティースクールグループ代表委員

（※コミュニティースクールは、以下CSと表記）

CSグループでは、佐久市立小中学校のCS担当の先生と地域コーディネーターを対象に、佐久市CS関係者会議を6月と11月に2回開催しました。会議の成果、来年度への展望は以下のとおりです。

『佐久市CS関係者会議の成果』

- ①「佐久の子どもたちを地域住民全員で育てていく」という願いが会議参加の間で共有できた
- ②小学校は地域コーディネーターの横のつながりができ、中学校は学校と公民館長との窓口が開いた
- ③「地域⇄学校という双方向の関係性の構築」に近づくことができた

『来年度に向けて』

- ①小学校の地域コーディネーター（または推進委員）の横のつながりは、自己紹介して顔見知りになったばかりなので、来年度もねらいを作って対面の会議を行いたい

- ②中学校の各地区の公民館長さんは地域との仲介役なので、仲介のパイプを太いものにしていき、さらに新たなコーディネーターさん等との対面の会議を行いたい
- ③会議がマンネリ化しないよう、会議ごとの狙いを明確にして継続したい
- 以上です。

委員長

続いて子育て支援グループをお願いします。

子育て支援グループ代表委員

子育て支援グループは、「子育て支援に関するサービスや団体が、支援を必要としている人に周知されていない」という問題に焦点を当て活動してきました。まずは、どんなサービスや団体があるのか情報収集をし、「子育て中の相談先について」のアンケート調査を実施しました。これらの調査を経て、子育て中の困りごとをどこに相談すれば良いのか、子育て支援の居場所はどこにあるのか分からない方へ向けての支援マップを作成するという方向に決まりました。現在は簡潔で分かりやすいことを心掛けて、マップを作成中です。また、イラストを描くことが得意な学生に声をかけ、作成に協力していただけたらと思っています。以上です。

委員長

続きまして多世代交流グループをお願いします。

多世代交流グループ代表委員

多世代交流グループは、佐久市が主催している「佐久平地域丸ごとキャンパス」に参加している学生に対して、ヒアリングとアンケートを実施しました。7人という少人数ではありますが、皆生徒会役員や部活動の部長をやっているような積極的な学生になります。

学校の友達や親以外に悩みを話せる人はいますか？と尋ねたところ、「いない」と答えた方が2人いました。一方「いる」と回答した方へ「どんな方に相談していますか？」と尋ねたところ、ほとんどが小中学校の友達という答えでした。ただ、学校外の活動で知り合った大人や他校の先輩後輩と回答した方もおりました。これは、地域

活動に参加する前には出会っていなかった方が現在は相談相手になっているということを表しています。

また、「どんな時に人と話をしたいと思いますか？」と尋ねたところ、悩みや困りごとがある時というよりは、「自分の話を聞いてもらいたい時」という回答が一番多くありました。

また、最後に「どのようなフリースペースがあると、学生が過ごしやすいと思いますか？」という質問には、「人の気配があり、『ここにいてもいいよ』という雰囲気を感じることができる場所」という回答が多く見られました。

以上がアンケート・ヒアリングの結果になります。この結果を参考に、他のグループとも連携しながら活動を進めていこうと考えています。以上になります。

#### 委員長

ただいまの発表について質問や意見はありますか。

#### 委員（子育て支援グループ所属）

学生の困りごととして「相談できる地域の大人がいない」という多世代交流グループの発表に関連して、子育て支援グループの中では、高校生になってからの学生の居場所や支援が少ないという点を憂慮しています。

高校進学したものの何かにつまずいてしまい、悩んで不登校や引きこもりになってしまった学生への支援窓口や団体などをご存知でしたら、情報共有していただきますようお願いいたします。

#### 委員（多世代交流グループ所属）

以前仕事の関係で、ある高校の授業に参加させていただきました。学生一人一人授業に対するモチベーションはそれぞれなので、モチベーションが低い学生に個別に声掛けをしても、関係性を作るまでには非常に時間がかかりました。そのような際にメンタルケアなどに詳しい専門職の方がいてくださると助かるなど実感することが多々あります。ぜひ高校生を対象とした居場所・支援窓口に関しても情報交換をさせていただきたいです。

委員長

他にはどうですか。

委員（多世代交流グループ所属）

子育て支援グループの活動に関してですが、障がいをもった子たちへの支援についても、現在様々なものがありますが、まだ不十分な部分もあるかと思います。

不安を感じている保護者に対し、「小学校ではこうしましょう、中学校へはこのようにステップアップしていきましょう」というような、先が見えるような支援がさらに拡充されることを願っています。そのような視点も、子育て支援グループの活動に入れていただきたいです。

委員（子育て支援グループ所属）

その視点も含めて調査を続けていきたいと思います。

委員長

他にはどうですか。

委員（多世代交流グループ所属）

CSグループに質問ですが、今現在CSのコーディネーターをされている方はいらっしゃると思いますが、次の世代や後継者という点では、どんな課題を抱えていますか？逆に、スムーズに世代交代が始まっているという事例があったら教えてください。

委員（CSグループ所属）

例えば、とある小学校のコーディネーターさんのご意見ですと、「自分が今まで協力をお願いしてきた連絡先リストは既にできているから、それを次の人に渡せばいいだけになっていて、どなたが次のコーディネーターになっても大丈夫」とお考えのようです。望月小学校でコーディネーターを務めている私も同じ考えです。そのときの先生や学校側との関係を加味しながら、新しい方のやり方で進めていただければと考えています。

むしろコーディネーターの世代交代よりも、活動に関わるボランティアさんの高齢化が進んでいるので、ボランティアさんたちの世代交代をどう進めていくかという方が課題になっていると感じています。

## (2) 教育委員・社会教育委員意見交換会について

### 委員長

社会教育委員の意見交換会について事務局より説明をお願いします。

### 事務局

社会教育委員と教育委員の意見交換会を3月に開催したいと考えております。そこで本日は、意見交換会の際に討論する事項を、グループごと検討していただきます。お配布した討論事項シートに、

- ・ 討論事項（教育委員との討論の議題にしたいこと）
  - ・ 討論事項の意図・目的（何のために、何が知りたくて、その事項を話し合うのか）
- を書き出してください。説明は以上です。

### 委員長

それではグループワークを開始します。時間は40分間です。

～グループワーク40分～

### 委員長

時間になりましたので、CSグループ代表者は発表してください。

### CSグループ代表委員

意見交換会で討論する事項として、三つの柱を考えました。

#### ①教育委員が考える佐久市CSの成果と今後の方向性

佐久市CSの開始から7年が経過し、CSの“形”はできていますが、話題性が薄れており、様々な会合でCSが話題になることが減ってきたと感じます。社会教育委員として

は、当初意欲的にやっていた頃に立ち返っていく必要があるのかなと考えていますので、その点について教育委員のご意見をうかがいたいと思います。

#### ②CSの社会認知の仕方について

社会教育委員としてCSについて1年間取り組んでみて、CSの存在を地域社会に周知していく必要があると感じています。その進め方について教育委員のご意見をうかがいたいと思います。

#### ③子どもたちや地域の方の心の拠り所としてのCSの推進について

学校内に地域の方が訪れることができる居場所やスペースが作れるのかどうか、またできたとしてどのように活用できそうかということをお聞きしたいと思います。

また、統合した臼田小学校や、学区の広い中学校では、対象地域が広がるためCSの運営が一層難しくなるという課題があると思います。その点に関し、社会教育委員と教育委員がどのように連携することができるのか、話し合いたいと考えています。

委員長

続いて、子育て支援グループの代表委員は発表してください。

子育て支援グループ代表委員

現在作成中の子育て支援マップについて、マップの試作品を作成しました。こちらを見ながら、現場のことをいろいろご存知な教育委員の方から支援窓口情報やアドバイスをいただきたいと考えています。

委員長

最後に、多世代交流グループの代表者は発表してください。

多世代交流グループ代表委員

多世代交流グループでは、以下3点に焦点をあて意見交換しようと考えています。

#### ①「こと」が起きる前の普段からの地域との関係づくり

「不登校等になってしまった際に、ご近所さんのお家や地域の教室になら通うことができ、外とのつながりを保てた」「事件に巻き込まれそうになった時、毎朝挨拶するご近所さんの家になら助けを求めることができた」というように、「こと」が起きる前の普段からの地域との関係づくりが重要であると思います。これについて教育委員の方はどんなご意見をお持ちなのかをおうかがいしたいと思います。

#### ②寄り道や道草から育まれる子どもたちと地域と関係について

地域と子どもたちのつながりは、意外と下校途中の寄り道や道草の中で育まれる部分があると思いますが、昨今は寄り道禁止、知らない人に話しかけられても答えないという風潮があると思います。地域の人、不審者だと思われたくないから話しかけられないというジレンマを抱えています。これについて教育委員の方はどんなご意見をお持ちなのかをおうかがいしたいと思います。

#### ③授業や学校行事への社会教育の取り入れ方

各学校は、決められたカリキュラムや年間行事等で忙しいとは思いますが、その中に社会教育を取り入れるとすれば、どのような点で取り入れられそうか、うかがいたいと思います。

#### 委員長

ありがとうございました。3月の意見交換会では活発な話し合いができるよう、各グループで集まり準備を進めてください。

#### (3) 社会教育委員の手引きについて

※長野県社会教育委員連絡協議会より発行された「社会教育委員の手引き」について、委員長より説明。(資料1「社会教育委員の手引き」参照。)

#### (4) その他

※令和5年2月1日より利用を開始する新しい佐久市生涯学習センターの設備等について、事務局より説明。(資料2「佐久市生涯学習センター」参照。)